

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号		学校名	奈良朱雀・奈良商工高等学校
----	--	-----	---------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	小学生ラグビー交流大会「朱雀カップ」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	大会の運営に携わることにより、主体性を育み、自己有用感を得る。
連携・協働相手	地域小学生ラグビーチーム (7チーム、指導者10名、児童約100名)
地域と共有している目標・課題等	異年齢集団の交流による地域の活性化
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>一昨年は台風接近、昨年はコロナ禍のため中止となっており、今回は3年ぶりの大会となった。天候にも恵まれ、会場の本校グラウンドには、早朝から多くの小学生とその保護者及びチーム指導者が訪れ、活気にあふれた大会となった。</p> <p>本校生徒(ラグビー部員)はグラウンド準備を行ったあと、開会後は、各小学生チームの担当者として行動を共にしたり、特設練習コーナーを設けて小学生ラグビーの指導に携わったりした。また、特別チームを編成して小学生チームとの対戦も行った。大会は大盛況のうちに閉会となり、表彰等の後、本校生代表が小学生たちへエールを送った。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>参加生徒は、地域の活性化への貢献を実感すると同時に、一生懸命に取り組む小学生と触れ合うことにより、自らの有用感をさらに高めたように見受けられる。</p> <p>感染症対策に腐心しながらの大会運営となったが、今後も地域の活性化と異校種交流の意義を大切にしながら、さらに実りある取組にしていきたい。</p>
--

